



10-5

琵琶湖から関西へ

滋賀県は、関西広域連合広域環境保全局の事務局を担っており、「地域環境・地球環境問題に対応し、環境・経済・社会の統合的向上による持続可能な関西の実現」を目標として、広域的に取り組むことにより住民生活の向上が期待できる施策を実施しています。

1. 持続可能な社会を担う育て

関西には自然、歴史、文化などの豊かな地域特性があります。関西広域連合広域環境保全局では、こうした地域資源を活用した環境学習コンテンツについて、関西広域連合を構成する府県市と共有を図っています。中でも、2016(平成28)年度から実施している学習船「うみのこ」を活用した親子体験航海事業は、琵琶湖の生物に関する学習や、雄大な琵琶湖北湖の展望等を通じて、国民的資産とされた琵琶湖の魅力に触れ、人と水に住む生き物のつながりを知ってもらうことを目的としています。毎年、関西広域連合の構成府県から多くの児童とその保護者が参加し、身の回りの環境を改めて考え直す契機となっています。



写真10-5-1 展望活動の様子

2. 生物多様性の保全と活用の取組推進

関西広域連合では、森・里・川・海のつながりに着目し、構成府県の地域をまたいだ広域的な視点のもと、生物多様性の保全上重要な場所を、「琵琶湖・淀川水系」等を含め、「関西の活かしたい自然エリア」として選定し、自然エリアの保全・活用により食物・文化・景観等の自然の恵みである生態系サービスの維持・向上を図っています。



図10-5-1 関西の活かしたい自然エリア6 琵琶湖・淀川水系

3. 3R等の統一取組の展開

関西広域連合では、「関西プラスチックごみゼロ宣言」を行い、マイバッグやマイボトル持参運動等を通じた3Rの取組を推進しています。特にマイボトルの利用促進を図るために、マイボトルの利用可能な店舗をWEB上で検索することができる「マイボトルスポットMAP」を作成し、啓発を行っています。



図10-5-2 循環型社会づくりシンボルロゴマーク

環境政策課、循環社会推進課、自然環境保全課